

【クレーム情報】

ガスによる色の変化

ガスによる色の変化は、クリーニング後の保管で多く発生していることが推測される現象です。特に最近の事故品鑑定では、ナイロンのダウンジャンパーに事故が目立っています。衣替えのこの時期、冬物衣料の返却時にガスによる変色について情報提供することは、利用者からの必要なトラブルを回避する有効な手段になります。今回は、保管後に利用者から持ち込まれた事故事例を紹介します。

■事故の状態

フード、両肩、両袖、裾等各所がオレンジ色っぽく変色している。特に裾部分の変化が著しく、変化は内側や裏地にも及んでいる。クリーニング後はクローゼットで保管し、着用しようとしたところ色の変化に気がついたため、クリーニング店に持ち込まれたもの。

■原因

着用や保管の際、酸化窒素ガスや亜硫酸ガスが作用することで染料が分解するなどして色に変化したもの。

酸化窒素ガスは、燃料が燃焼する際に空気中の窒素と酸素が化合して発生する。家庭内においては、石油ストーブ、ガスストーブ、ガスコンロ、ガス湯沸し器などから発生する。自動車のガソリンエンジンやディーゼルエンジンも大きな発生源となる。亜硫酸ガスは、石炭、重油、軽油など

の燃料が燃焼する際、これらに含まれている硫黄分と空気中の酸素とが化合して発生する。主な発生源には、火力発電所、工業用ボイラー、非鉄金属精錬所などがある。また、海洋、土壌、火山などの自然環境からも亜硫酸ガスを生成する硫黄分が放出されており、こうした硫黄分の中の相当量が自然発生的に亜硫酸ガスなどに変化している。

■事故が発生しやすい素材

反応染料を使用した綿の染色品の一部や、分散染料を使用したアセテートおよびナイロン染色品の一部などに生じやすい。

■事故の防止対策

ガスによる色の変化の大半は、本事例のように着用時や家庭での保管中に生じている可能性が高い。しかし、利用者はこうした現象を理解していないために原因が

クリーニングの処理にあるものと思込み、結果的にクリーニング店に苦情を持ち込むものと考えられる。

したがって、クリーニング店における苦情の防止対策としては利用者に対してガスによる事故の実態を周知し、目に見えない大気中のガスが衣料品の色の変化の原因になることを理解させることが必要。受付時にはチェックを徹底し、わずかでも変化を見つけた場合はクリーニングで明瞭化する可能性があることを伝える。

返却時には、ガスとの接触を避けるため気密性を保つような保管を工夫することや、燃焼ガスや排気ガスなどによって汚染された空気が滞留しやすい場所での長期保管や放置に注意することなどのアドバイスも啓発になる。

また、クリーニング店でもガスの作用により変色が生じる可能性が考えられるため、保管業務を行っている場合は十分に注意しなければならない。



写真1
ベージュ色の中わたダウンコート



写真2 境目がはっきりせず、ぼんやりとしているのが燃焼ガスによる変色の特徴。ガスは衣料品の中に滞留するため、裾は内側や裏地まで変色している

■品名…中わたダウンコート
■素材…表地：ナイロン100%
裏地：ナイロン100%
中わた：ダウン75%、
フェザー25%

■取り扱い絵表示…

■処理方法…ウエットクリーニング、
加熱静止乾燥